

明 — みょう —

真宗大谷派 本明寺通信

No.33

2014年7月1日発行



沖縄の開教所 何我寺 (2014年5月7日撮影)

御遠忌テーマ **今、いのちがあなたを生きている**



宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要

今、いのちがあなたを生きている

**真のよりどころを
求めて**

花まつり(子ども会)

4月13日(日)

今年も花まつり(子ども会)を開催しました。今年もご門徒さんだけではなく、娘の小学校の友達にも声を掛け、25人以上もの子どもと大人が集まりました。

まず本堂でお勤めをし、お話し、ゲームをしました。その後、今年10月の御遠忌に向けてタイムカプセルを作りました。みんな50年後に向けて、思い思いに絵や手紙を書き、写真やおもちゃなども入れていました。50年後がとても楽しみです。

おやつにはクレープを作り。高学年のお姉さんと大人の方の皆さん



んが焼いてくれ生地には、イチゴやバナナ、生クリームやカスタードクリーム、レタスやシーチキンなどで、様々な具材を自由にトッピングしました。最後は恒例になりつ



つある「ハンカチ落とし」で盛り上がりました。
来年も開催する予定です。みなさまのご参加をお待ちしています。





二〇一四年
本明寺 永代経法要
五月二十六日(日)
本年も永代経法要を厳修いたしました。永代経法要とは、永代



にわたりお経(教え)が大切に受け継がれることを願ってお勤めする法要です。
多くの方にご参集いただきました。ありがとうございます。

◆永代経お手伝い

永代経をお手伝いしていただいた方々をご紹介します。

川瀬	きぬる	後藤	まさ子
高田	トヨ	宝田	満男
宝田	康子	滝口	泉
滝口	和彦	根岸	千栄子
平山	邦男	横澤	正克
横山	ナヲ	和田	富士子
渡邊	京子	渡邊	憲章

(五十音順・敬称略)

お手伝いいただき、ありがとうございました。なお、今後お手伝いいただける方がおりましたらご連絡ください。



◆おみがき奉仕のつどい

五月十九日(日)

おみがき奉仕のつどいにご参加された方々をご紹介します。

川瀬	きぬゑ	後藤	まさ子
滝口	泉	坪井	愛子
本田	唯果	本田	彰一
本田	信子	松本	フサエ
山田	ケイ	山本	恭子
山本	沙耶佳	山本	豊子
渡邊	京子		

(五十音順・敬称略)

お手伝いいただき、ありがとうございました。

次回は十月十二日(日)に行います。





4月1日、東京都練馬区にあり
ます東本願寺「真宗会館」で行わ
れました「宗祖親鸞聖人750回
御遠忌法要 子どもごえんき」に
企画会チーフとして関わらせてい
ただきました。

この「子ども御遠忌」の企画は
2012年頃から話し合わせ、約
一年半の期間をかけて、作り上げ
てきました。最初は私の途方もな
い企画でしたが、協力してくださ
る方々のおかげで、盛大に厳修す
ることが出来ました。この1年半
の歩みを例えてみますと、泥沼に
家を建てようと計画をし、その泥
沼を埋め立ててくれる人がいて、
土台を作る人がいて、柱、壁、屋
根を建ててくれる人がいました。
そして出来た家に子どもたちが集
ってくれたということだと思いま

す。ある先生に「お寺とは帰る家
である」というお話を伺ったこと
があります。この「子ども御遠忌」
が私にとって、そして参詣してく
れた子どもたち、スタッフの方々
にとって、「帰る家」になったので
はないかと思っております。

当日は参加者、スタッフ合わせ
て350名以上が集まり、とても
楽しく、そしてとても大切な場が
開かれました。

まず、ごえんき法要をお勤めし
ました。お坊さんの資格を持つて
いる子はお衣に着替えて出しま
した。みんな緊張した面持ちでし
たが法要が始まるとみんな大きな
声でおつとめをしていました。法
要後には靄見美智子さん（横浜組
西教寺坊守・アソカ幼稚園教頭）
のおはなしを伺いました。

その後はお楽しみの時間。カレーやラーメンなどの食べ物ブース。ストラックアウトや紙芝居、わなげ、昔遊び、釣り堀などの遊びブース。お祭りのような雰囲気の中、みんな楽しんでいました。最後はみんなで演劇鑑賞。脚本、演出、役者は教区の名じみのある顔ぶれ。子どもたちを楽しませるスキルはさすがでした。

真宗会館設立以来、これだけの子どもが集まるのが初めてと聞いております。そして教区としても、子どもを中心とする事業に青少年部門や児連だけが担うのではなく、多岐にわたる部門、関係団体が積極的に関わったことはなかったと聞いております。

今後も子どもたちを中心とした事業を考えていきたいと思えます。



青年のつどい ニッ沖縄



5月7日から9日の2泊3日、東京教区青少年部門の主催、青年のつどいで沖縄に行ってきました。青少年部門は1年の事業のテーマを非戦平和に定め、輪読会や研修会、靖国神社への現地学習を経て、沖縄研修旅行でした。

まず、向かったのは読谷村（よみたんそん）で何我寺（ぬうがじ）という真宗大谷派の開教所を開いている知花昌一（ちばなしょうい

ち）氏にお話を伺い、チビチリガマとシムクガマを訪れました。ガマとは天然の洞穴で、太平洋戦争の末期に起こった沖縄戦にて、住人や日本兵の避難場所や野戦病院として利用されていました。

まずチビチリガマは、当時鬼畜米英と教育を受け残虐な仕打ちを恐れた人々が、アメリカ軍が目の前に迫り、いよいよ包囲された際、そこでの絶望の中、娘が母に「殺してくれ」とせがみ、母が我が子を殺し、大人は自決する。チビチリガマに避難した人、約140人の内85人非業の死を遂げた。知花氏は「これは集団自決ではない。軍国主義下で行われた教育によりやむなく死んでいった、集団強制死である」と語られた。

次にシムクガマは約1000人

が避難しており、チビチリガマと同様にアメリカ軍に包囲されたが、ハワイ帰りの英語の解る二人が「鬼畜米英は間違いである。アメリカ人は人を虐殺するようなことはしない」とみんなを説得し、一



チビチリガマ



平和祈念公園

人の死者を出すことなく約1000人全員が投降し助かったそうです。チビチリガマとシムクガマは、わずか800メートルしか離れていなかったのに、まったく逆の決断をしたのでした。



ひめゆりの塔

他にも、丸木美術館（埼玉県東松山）の「原爆の図」で有名な丸木位里・俊夫妻の「沖縄戦の図」が展示されている佐喜真美術館、その屋上から見渡す普天間基地、南風原町（はえばるちよう）にあ



東本願寺 沖縄別院

る、陸軍病院として使われていた壕や戦争体験者のお話、平和祈念公園の平和の礎、ひめゆり平和祈念館。初めて訪れる所もあったが、何度訪れても深く考えさせられる沖縄であった。



6月4日(水)、東京国際フォーラムにて、東京教区の「宗祖親鸞聖人750回御遠忌 記念大会」が開催されました。この記念大会を最後に東京教区の御遠忌事業がすべて終了いたしました。

本明寺からは、住職と2名のご門徒さんが参加されました。

参加された2名のご門徒さんから感想をいただきましたので、ご紹介させていただきます。

東京教区

宗祖親鸞聖人

750回御遠忌

記念大会に参加し

平山 邦男(墨田区在住)

梅雨入り前の6月4日(水)、東京国際フォーラムで開催された「東京教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌記念大会」に住職と一緒に参加いたしました。1都8県(関東6県、山梨、長野)から1500人もの大勢の人が参加されたのはビックリしました。国際フォーラム「ホールC」の会場一階から三階まで人々で満員でした。12時30分から記念大会が始まり、まず「真宗宗歌」を斉唱し、そのあとに正信偈同朋奉讃をお勤めました。会場の1500人が



一斉に声をあげたのですから、すごい迫力に感動しました。また、一体感を味わうことができました。次に、記念大会委員長の挨拶や宗務総長の祝辞などがあり、そのあと感話では二人の体験発表があ



りました。しっかりした内容で参考になりました。

休憩のあと、清興では仏教讃歌を混声合唱で6曲聞きました。すがすがしい合唱でした。キリスト教では、教会の礼拝や集会などで、

賛美歌が歌われますが、今回の仏教讃歌は賛美歌よりも新鮮に聞こえて心洗われました。プログラムは仏教讃歌とありましたが、真宗讃歌に改めた方がピッタリする様に思いました。

記念講演は古田和弘師（大谷大学名誉教授）がされ、講題は「今、いのちがあなたを求めている―真のよりどころを求めて―」。これは東京教区の御遠忌テーマです。師はこのテーマの意味が難解だと話されました。ただ、何回も口にすればわかってくるのではないかと話しておられました。「真の事実とは何か」について丁寧にわかりやすくお話があり、「本当の真実は『大無量寿経』の中にあると教えて頂きました。あつという間に時間が過ぎましたが大変勉強になっ

た講演でした。

最後に「2014東京宣言」とした記念大会の大会宣言を発表し、基本課題、実践項目の説明のあと、恩徳讃を唱和して終わりました。当日配られましたプログラムの

「教区御遠忌事業のあゆみ」を読みましたら、2002年に御遠忌準備委員会を発足させて以来10年以上準備活動をしたとの事でした。この記念大会に参加して改めて真宗大谷派の力強いエネルギーと心強い絆を感じたすばらしい記念大会でした。



古田 和弘 氏

親鸞聖人

七百五十回御遠忌

記念大会に参加して

横澤 正克（墨田区在住）

現代社会では、痛ましい、時には人間としての倫理・道徳に外れた事件や事故が日々報道されています。そして現代人は、社会的な繋がりが薄れ、利己主義がはびこりつつあると感じます。又世界に目を向ければ、人間の飽くなき欲望によって、エネルギーが大量消費され、環境を破壊し、国家間の領土争いが繰り返されています。この様な現代社会の中で、私達はどう生きて行くべきなのか、真実とは何かを問いかけながら日々生活しているのが現実ではないでしょうか。この様な中、典型的な凡

夫であり、問題意識を持ちつつも、家族や身近な社会との関わりのみを中心に生活にしている私が、御遠忌法要締めくくりの記念大会に参加させて頂きました。大会では、向後50年に向けて「基本課題」と「実践項目」が「東京宣言」として採択されました。私は参加者1500人の一人として、自分自身の今後の生き方を宣言した事になり、当初はその宣言の重さを痛感し、果たして実行できるのかと不安を抱いたのが正直なところでした。しかし、古田和弘師の講演を『人として生かされている我々は、阿弥陀如来の「大悲」が真の真実である、とする親鸞聖人の教えを真のよりどころとして生きるべき』と私なりに理解し、師の法話に安堵感を覚えました。残され

た我が人生、気負わず自然体で、そして自分なりに親鸞聖人の教えに接し、自分自身を少しでも律していく事ができれば良いのではないかと。そうする事が、東京宣言を採択した私の責任を果たす事になるのでは、と思っております。

（東京1組報『和合』掲載）



同朋社会推進ネットワーク内部研修 陸軍登戸研究所の 現地学習

6月20日、非戦平和を課題とした内部研修を行いました。今回は、戦時中、神奈川県川崎市多摩区にある明治大学生田キャンパスとそ



の周辺に秘密研究機関としてあった「陸軍登戸研究所」の跡地を大関健吾氏（登戸研究所保存の会）を講師にガイドをしていただきました。

当時、この「陸軍登戸研究所」では秘密戦。謀略戦に関わる研究・開発が行われていました。毒物、細菌などの生物化学兵器、他国の偽造紙幣作り、風船爆弾、スパイなどが使う武器・器具などを開発・製造していました。正式名称は「第9陸軍技術研究所」とされましたが、軍の法規にすらのらずに、その存在は最後まで秘匿されていました。

現在は当時から使われていた鉄筋コンクリートの建物を「明治大学平和教育登戸研究所資料館」として残っています。この資料館は

大学、行政、市民が三位一体となつて保存運動をしています。この資料館の名称には「教育」と入っています。明治大学生田キャンパスは理工学部、農学部の学生が学んでいます。世の中を便利にする研究も、戦争兵器を開発する研究も、根本は同じ研究であり、時代や目的によつて大きく変わってしまうことを伝えていきたいという願いがあるからだそうです。

（『しゃばネット』掲載記事より）



風船爆弾

その他の歩み



- ◆ 4月26日(土)
通覚寺子ども会 にんじんの会
- ◆ 5月1日(木) ～ 2日(金)
東京教区 児童教化連盟
サマーキャンプ下見
- ◆ 5月15日(木)
東京教区 臨時教化委員会総会
- ◆ 5月16日(金)
東京教区 児童教化連盟
春の研修会
- ◆ 5月20日(火)
本所仏教会総会

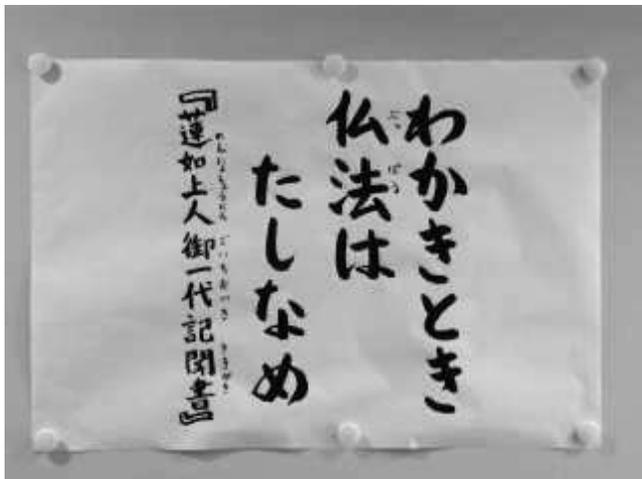
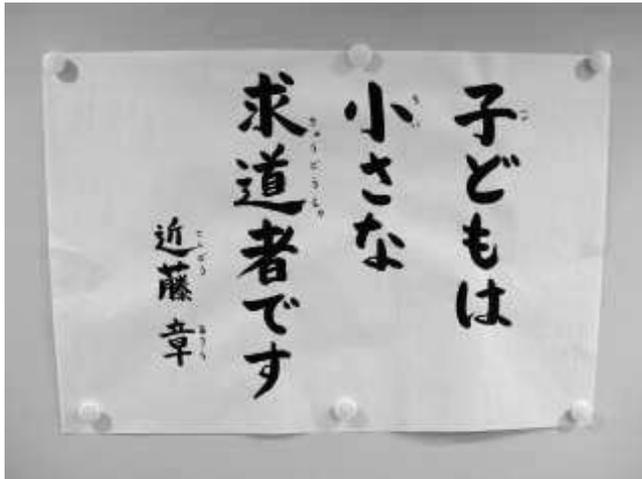
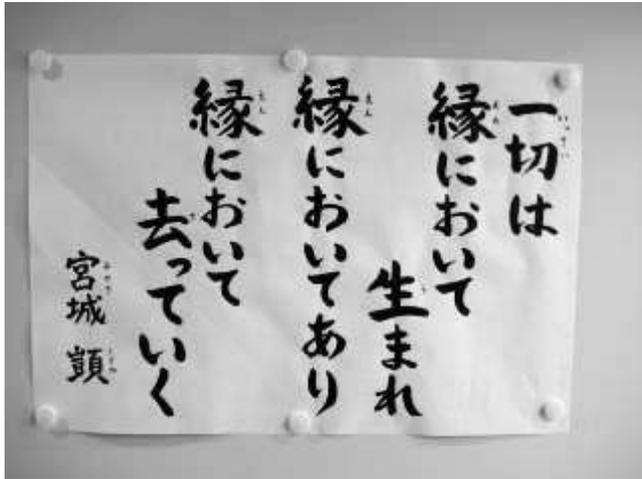
- ◆ 5月21日(水) ～ 22日(木)
仙台教区
東日本大震災 心に刻むつどい
- ◆ 6月23日(金)
東京教区
お寺の子ども会サポートプラン
- ◆ 6月6日(金)
東京1組 懇談会
- ◆ 6月14日(土)
東京1組 門徒会聞法会
- ◆ 6月18日(水)
東京教区 教化委員会総会
- ◆ 6月21日(土)
湾岸親鸞講座⑥



児連 春の研修会
普通救命講習

などなど

- ◆ 6月24日(火) ～ 25日(水)
東京1組 住職寺族研修会
真宗本廟奉仕団
- ◆ 6月26日(木) ～ 28日(日)
住職修習
住職・教会主管者任命式
(次号でご報告いたします)



お寺の掲示板

四月
五月
六月

四月
五月
六月

四月

五月

六月



本明寺の予定

◆本明寺 おみがき奉仕のつどい

期 日…10月12日(日)

時 間…13時～16時

一緒に仏具をきれいにしながらお話をしませんか。
お気軽にご参加ください。

◆本明寺 聞法会

期 日…7月27日(日)

8月31日(日)

9月28日(日)

時 間…15時～17時

お 話…本田 彰一(本明寺副住職)

テ ー マ…正信偈に学ぶ

(親鸞聖人が作られた正信偈を通して教え
を学びます)

参加費…500円

多くの方のご参加をお待ちしています。

このような時にお参りします

◆法事

上記の年回忌や四十九日法要など

◆祥月命日

上記の年回忌以外の当月命日

◆月命日

毎月の命日

◆春秋彼岸

春季(三月)、秋季(九月)のお彼岸

◆お盆

七月(都内)八月(都外)のお盆

◆その他の仏事

誕生記念、入学祝い、卒業祝い、成人記念、結
婚式、お内仏(お仏壇)安置、入仏式など慶弔
を問いません

お参りをご希望される方は、日程、場所(お寺、ご
自宅、墓地など)が決まりましたら、一カ月前までに
お寺までご連絡ください。ご希望に添えない場合もご
ざいますがご了承ください。

年忌案内 2014年(平成26年)	
回忌	命終された年
1周忌	2013年 (平成25年)
3回忌	2012年 (平成24年)
7回忌	2008年 (平成20年)
13回忌	2002年 (平成14年)
17回忌	1998年 (平成10年)
23回忌	1992年 (平成4年)
(25回忌)	1990年 (平成2年)
27回忌	1988年 (昭和63年)
33回忌	1982年 (昭和57年)
50回忌	1965年 (昭和40年)
70回忌	1945年 (昭和20年)
100回忌	1915年 (大正4年)

◆湾岸親鸞講座(市民講座)

テーマ..ブツダから親鸞へ

日程..①2014年8月9日(土)
②10月18日(土)
③12月20日(土)
④2015年2月21日(土)
⑤4月18日(土)
⑥6月20日(土)

講師..木越康氏(大谷大学教授)

受講料..1,000円

会場..江東区産業会館、他

※会場は不定です。お問い合わせください

◆東日本大震災復興支援

チャリティートーク&ライブin東京

テーマ..震災からのまなざし

日時..10月5日(日)
13時~16時30分(12時開場)

会場..浄土宗大本山 増上寺

参加費..3,000円

(売り上げは金は、必要経費を除いた全額を東日本大震災復興支援活動を行っている団体に寄付します)

定員..300名(先着申込順) 全席自由

この事業は、金沢、高岡、富山、名古屋でも開催されてきました。今回、東京では真宗大谷派、浄土真宗本願寺派、浄土宗の各宗派の僧侶、ならびに、一般社団法人リヴオンにより開催します。詳しくは、チラシをごらんください。

※お申し込み・お問合せは、お気軽に本明寺までご連絡ください。

宗祖親鸞聖人750回御遠忌法要 兼 本明寺第3世住職就任式 2014年10月19日(日)

この度、本明寺において「宗祖親鸞聖人750回御遠忌法要」を勤修いたします。またこの勝縁に、本明寺住職を本田隆見（現住職）より本田彰一（現副住職）に交代し、兼ねまして「本明寺第3世住職就任式」を行いたいと思います。

何卒、ご家族の皆様をお誘い上、ご参詣くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

日程

第Ⅰ部

- 10:00 受付
- 11:00 庭儀（稚児行列）
- 12:00 軽食

第Ⅱ部

- 13:00 御遠忌法要
- 15:00 記念法話
講師 酒井義一氏
(世田谷区 存明寺住職)

- 16:00 閉会

第Ⅲ部

- 17:00 祝賀会（会費制）
- 19:30 散会

※詳しくは、後日発送いたします案内をご覧ください

宗祖親鸞聖人750回御遠忌法要

お稚児さん大募集



- 期 日 2014年10月19日(日)
- 日 程 9:30 受付・着替え
10:30 記念撮影
11:00 庭儀(稚児行列)出発
11:30 献花・お勤め
12:00 着替え・解散
- 募集対象 0歳から小学校6年生まで
- 定員 30名
(申込先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 参加費 3000円(衣装代、記念品を含む)
- 申込方法 申込書に必要事項を記入し、参加費を添えて本明寺までお申し込みください
- 申込締切 8月31日(日)

※詳しくは、チラシをご覧ください

宗祖親鸞聖人750回御遠忌法要

タイムカプセル



750回忌 → 800回忌
(2011年) (2061年)



—未来へつなぐ私の願い—

応募締切：2014年10月19日(日)到着まで
 設置日：2014年10月19日(日)※一部後日設置
 設置場所：本明寺本堂 祖師前(親鸞聖人掛け軸)の下
 応募方法：タイムカプセルに納めるもの所定の封筒に入れ、住所、名前を記入し本明寺までお持ち下さい。
 ※郵送の場合は、上記封筒を更に本明寺宛の封筒に入れてお送りください。

※詳しくは、チラシをご覧ください

◆ 私たちの真宗 ◆

- 一、本尊 阿弥陀如来
- 二、宗祖 親鸞聖人
- 三、宗旨 浄土真宗
- 四、宗派 真宗大谷派
- 五、本山 真宗本廟（京都・東本願寺）
- 六、経典 浄土三部経 仏説無量寿経
仏説観無量寿経
仏説阿弥陀経
- 七、教え 本願を信じ、念仏もうさば仏になる
- 八、称名 南無阿弥陀仏
- 九、勤行 正信偈・念仏・和讃・回向・御文
- 十、宗風 礼拝の生活
《朝夕に勤行をいたしましょう》
正信の生活
《迷信に惑わされないで歩みましょう》
聞法の生活
《仏法を聴聞し、生まれた意義と
生きる喜びをみつけましょう》

あとがき

▼4月に我が娘、唯果（いちか）が小学校に入学しました。入学式翌日、娘1人で登校していきしましたが、学校まで直進5分の道のりを心配なのでお見送りしてしまいました。親バカですぬ。

★ご意見・ご感想・ご質問などをお待ちしています。

★バックナンバーをご希望の方はご連絡ください。すぐにお送りいたします。

発行 真宗大谷派 本明寺
住職 本田 彰一（釋 彰一）
〒130-0012 東京都墨田区太平二・七・一
TEL 03-3623-1536
FAX 03-3623-1538
E-mail honmyouji@mx1.ttcn.ne.jp
URL <http://www1.ttcn.ne.jp/honmyouji/>